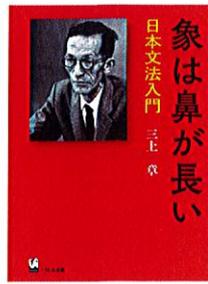


MMC会員
おすすめの本コーナー
その2

〈象は鼻が長い〉
『主語を抹殺した男 評伝三上章』（金谷武洋・講談社）



英文法に毒されたそれまでの日本語文法研究に、破壊的なカウンターを喰らはせた、在野の語学者三上章（アキラ、一九〇三〜七二）の評伝である。
三上とかれの業績は、三上の経歴ゆえに、国語学会本流から長く疎外されてきた。しかし、近年の日本語ブームによつて、その価値が見直され、正当な評価を得つつある。
「象文」といふ言葉をご存知だろうか。（象ハ鼻ガ長イ）
三上の著作【写真参照】のタイトルであり、日本語文法に新たな地平を齎した文である。この文の主部は「鼻ガ」術部は「長イ」。さすれば「象ハ」は何であるか。この助詞「ハ」の独創の考察によつて三上は、大

槻文彦、橋本進吉らが、欧米語、特に英語の文法に倣ひ論じ構築してきた「学校文法」の誤りを指摘し、かつ日本語独自の文法体系に新たな光をあてた。本評伝で著者金谷が付したタイトル『主語を殺した男』は、この三上の研究の切先を示すものである。

三上章の生家は広島府の安芸高田市の豪農である。幼くして優秀で、山口高等学校に首席で入学する。同級の今西錦司（文化人類学）、一級下の桑原武夫（仏文学）らと交流す。しかし数か月で自主退学してその翌年、京都の第三高等学校理科甲類に合格し、東京大学工学部建築科へと進む。東大卒業後は官吏となるも直ぐに職を放擲し、以後旧制中学の数学教師を勤めながら、在野で独自の日本語文法研究に没頭し、独自の「三上文法」を発表してゆく。晩年、大谷女子大学国文学教授に迎へられ、一九七〇年にはハーバード大学に招聘されるも翌年に逝去する。享年六十八。生涯独身であった。

ところで「鰻文」といふのもある。食堂で「何にする？」と問はれる。同席者の問ひに「ぼくは鰻だ」と答へる。話文。ぼくはもちろん鰻では無い。この奇妙な日本語話法の謎を解き明かした本が、『「ボクハウナギダ」の文法』（奥津敬一郎・くろしお出版）。興味ある方はこちらどうぞ。（下サ健）

今回は〈戦争〉をテーマにした著作と映画二本を紹介したいと思います。
1. 「アメリカと戦いながら日本映画を観た」
小林信彦著

朝日文庫

本書は二〇〇年（昭和二五年）つまり太平洋戦争開戦の前年から二〇二年（昭和二七年）敗戦の二年後、著者が八歳から十五歳までの、著者曰く「一人の少年が太平洋戦争下の日々をどのように過ごし、成長したか、という私的なドキュメント」である。

著者は東京下町の「和菓子屋」の長男として生まれた。モダン・ストであった父親の影響もあり、幼少の頃から洋画に親しんでいた。

だが、時局の変化で外国映画（主にアメリカ映画）の上映制限が施行され、日本映画の上映に移行していく。

当時の日本映画は、すべてが〈国策映画〉。つまり〈英米をやっつける映画〉であったが、その中に少年（著者）は〈アメリカ映画の匂い〉を嗅ぎとっていき、そして開戦から敗戦までの体験が、映画鑑賞を交えて克明に綴られる。

因みに、単行本刊行時（二〇〇九年）の書名は「二少年の観た〈聖戦〉」です。
本書（あとがき）で著者は次のように記しています。
やたらに〈戦後×十年〉とい

うが、新聞は戦時中とほとんど変わってないし、テレビは煽情的な戦時中のニュース映画にそっくりである。

デコレーションは変わったとしても、日本人と文化の本質は五十年間あまり変わっていないのを痛感する。

敗戦のあとで日本国民がみずから戦争責任の追及をやらせず、すべてをあいまいにしたつけが、政治家・官僚の荒廃、異常かつ病的な社会現象となって次々にあらわになってきた。

2 「関心領域」 監督ジョナサン・クレイザー

「アウシュヴィッツ収容所」の所長だったルドルフ・ヘス一家の生活を通して、ユダヤ人虐殺を暗示する衝撃作。

第29回カンヌ国際映画祭グランプリ受賞

第9回アカデミー国際長編映画賞、音響賞受賞

3 「リッチランド」 監督アイルーン・ルスティック

第二次世界大戦下、アメリカで原爆を作るために生まれた町「リッチランド」。

その知られざる歴史と現在を描くドキュメンタリー映画。

この町で作られた原爆が、長崎に落とされた。（佐助）

編集後記

コロナ禍を経て再び例会は隔月で行えるようになり目出度い限りですが、ごめんなさい！会報は年に3回、1月5月9月にさせていただきます！よろしくお願ひします。（瓜）

（今回は11月になっちゃいました、リン）

次回例会は

11月22日（金）18時より。

馬町ランタナにて。テーマ

「最近読んだ面白かった本」

「年末のベストミステリー

を予測しよう」参加無料で

すが、事前に申し込みをお願いします。

MMCメトロミステリー倶楽部

がー会ハ
人リ入ブ
崎テもク
長スでク
なミタ記
好きなら
好まな下
ミステリ
運営して
は運営し
クラブは
クラブは
当集小大
ウスマ

〒850-0811
長崎市矢野平2-11-4
MMCクラブハウス garirin4sai@aw
a.bbiiq.jp